

令和4年度 第1回郡上市地域公共交通会議

○会議名称 令和4年度 第1回郡上市地域公共交通会議

○開催日時 令和4年6月1日（水）午後3時00分～午後5時00分

○開催場所 郡上市産業プラザ交流ホール

○協議事項

議案第1号 郡上八幡白鳥線（白鳥交通）のバス停留所の増設に伴う停留所間キロ程・時刻表・運賃改定について

議案第2号 令和5年度生活交通確保維持改善計画の策定について

議案第3号 郡上市地域公共交通網形成計画事業の進捗状況報告並びに令和4年度事業計画について

議案第4号（仮称）郡上市地域公共交通計画の概要と策定調査委託業務について

○出席委員 青木修副市長、尾藤安正、平岩憲政、木村治史（代理）、田中秀昭、大西春子、田中康裕、三輪政美、林克憲、古川浩二、笠野信男、三島宏治、遠藤毅、廣中健太、渥美宏、石田裕、吉田佳史（代理）、木村照雄、遠藤協一、松原由幸、伊豆原浩二、佐々木綱行、池田喜八郎、武藤哲文、恩田邦正 計25名

○欠席委員 佐野みゆき 1名

○出席者（事務局：市長公室企画課）

室長 河合保隆、企画課長 入木田瑞樹、課長補佐 鷺見一久、

交通対策係長 河合真英、主任主査 河合厚志、主事 河合秀明

大和公共交通担当 遠藤孝則、高鷲公共交通担当 土岐拓也、美並公共交通担当 西川美香、

明宝公共交通担当 藤代雄二、和良公共交通担当 清水正則

社会福祉課 井上美奈実、学校教育課 村山尚也

1. 開 会 (司会)

2. 委員委嘱状の交付

3. あいさつ 会長代理 青木副市長

*議長(会長代理：副市長) 議事進行

4. 郡上市地域公共交通会議の監事2名の指名について

要綱第11条の規定により、「監事」は委員のうちから会長が指名することとされている。

監事には、公募委員の廣中健太委員、八幡バス運転手組合代表の石田裕委員の2名が指名された。

5. 郡上市の公共交通の現状について … 資料1

事務局より概要説明、各交通事業者より状況報告

*質疑応答

委員 郡上市の高齢化や人口減少に伴い公共交通の運転手不足が問題となっている。コロナが落ち着き観光事業が上向きになりつつある現在、次に着目されるのは運転手問題である。運転手が不足した結果、無理な運行が増えてしまうのではと懸念している。

協会では日本バス協会と連携し、大型第二種の免許取得の助成を一人5万円まで行うなど努力している。公共交通の運転手を魅力ある職業にし、地域に根付く運転手を育てていかないと、公共交通の維持は難しい。

副市長 この問題は市の方でも対策を検討していく。

6. 協議事項

議案第1号 郡上八幡白鳥線(白鳥交通)のバス停留所の増設に伴う停留所間キロ程・時刻表・運賃改定について 事務局より説明 … 資料2

*質疑応答なく、原案通り承認。

議案第2号 令和5年度生活交通確保維持改善計画の策定について 事務局より説明 … 資料3

*質疑応答

委員 濃飛横断自動車道(郡上市～下呂市)の広域幹線ルート協議(実証実験中)の内容について詳しく教えてほしい。

事務局 資料4の「郡上市地域公共交通網形成計画 令和4年度 実施事業一覧」に記載。

郡上市から下呂市間を結ぶ広域幹線路線の整備に向け、関係者で協議を進め沿線地域の活性化を進めている。今年度は下呂駅発→郡上市八幡着の継続運行、路線化の可能性について大手バス事業者へのヒアリングの実施を行う。

副市長 この件に関しては郡上市の建設部、観光課、観光連盟のいずれも関係が深い事業である。情

報の共有をしっかりと行い、成果を出してほしい。

原案通り承認。

議題第3号 郡上市地域公共交通網形成計画事業の進捗状況報告並びに

令和4年度事業計画について。

事務局より説明 … **資料4**

*** 質疑応答**

委員 新計画における主な計画内容（案）の内の、運転手の確保対策の検討にある、市が発注する事業者委託の効率化について具体的な内容を教えてほしい。

事務局 まだ検討段階であり各関係者や団体との協議が必要ではあるが、事務局としては、市が発注する様々な委託業務（給食配送、スクールバス、自主運行バス等）のそれぞれに運転手を確保する必要があるため、業務を一本化する等して運転手の雇用問題を解消できないかと考えている。

委員 新計画における主な計画内容（案）の内の、広域交通の検討にある、令和8年開通予定の中部縦貫自動車道（福井県～岐阜県間）における白鳥地域の交通結節点との連絡について具体的な内容を教えてほしい。

事務局 まだ先の話であるため、具体的なものはないが、東海北陸自動車道と中部縦貫自動車道が交差する結節点である白鳥地域は、北陸に向けての重要な拠点になると考えている。例としては広域バスが活用可能なのか、活用之际して停留所などはどうするか、といった点を検討していく予定である。

委員 中部縦貫自動車道の開通にあたって、福井県や富山県等の関連する県との方向性を調べ、広域交通の一本化における周囲の県との関係をどう捉えていくか、課題として整理していくと良い。また網計画から次の新計画に際して、計画目標を達成したか否かについて、むしろなぜ達成できたか、できなかったかを整理すると課題が明確になる。数値を出すだけでなく、前計画の内容を精査し、継続すべきか変更すべきかを次の議論のテーマとして整理し、それをもとに計画や提案を立て、会議で議員に意見をもらうという流れにするとよい。

副市長 ご指摘の通り、事務局には課題の整理を行っていただく必要がある。特に公共交通の検討には色々なデータが必要になるため、データの入手や処理についても、オープンにできるものはオープンにし、今後の議論に役立ててほしい。

原案通り承認。

議題第4号 (仮称)郡上市地域公共交通計画の概要と策定調査委託業務について

事務局より説明 … **資料5**

*** 質疑応答**

委員 このような関係者の方々が一堂に会する会議というのは、他では中々見られないものである。それぞれの立場から意見を頂き、5年後10年後を見据えた、より良い計画を策定していきたいと考えている。

委員 「公共交通（バス・鉄道・タクシー）に対するニーズ・潜在的需要」と言うのが、どれだけあるかを把握するため、可能であれば質問の内容を調整させてほしい。

事務局 アンケート内容の際は、また調整させていただく。

副市長 スクールバスは今回重要な課題となっている。学校と直接関わる大和地域や、教育委員会との調整は十分にやってほしい。

原案通り承認。

7. 情報交換

委員 アンケートも大事だが、アンケートだけに頼らないよう事務局にはお願いしたい。地域の皆様の生の声というのは、アンケートだけで把握できるものではなく、懇談会など地域の支局が集まった場など、直接お話を聞くチャンスを逃さず計画を立ててほしい。

事務局 ご指摘の通り、懇談会に加え高齢者サロンなど公共交通の利用者が集まる場所に意見を伺い、声を聞くだけでなく考えてもらいながら、地域の声を伺う機会を設けながら進めていきたいと考えている。

8. 閉 会 副会長